

4 改革が目指すもの

(1) 目標

「将来にわたり持続可能な市政運営の実現」

社会情勢の変化や新たな行政ニーズに的確に対応し、将来にわたり持続可能な行政サービスを提供できる市政運営を目指します。

この目標を達成するため、次の3つの方針に基づき、71 の実施プログラムを作成し、幅広い取り組みを進めていきます。

- 方針Ⅰ 市民のニーズに対応した質の高いサービスの提供
- 方針Ⅱ 時代の変化を捉えた効率的・効果的な行政運営の推進
- 方針Ⅲ 確固たる財政基盤の構築

【目標値】

- 行財政改革の取り組みが進んでいると感じる市民の割合
25.0% ⇒ 50.0%
- 信頼できる市政と感じる市民の割合
38.4% ⇒ 60.0%
- 効果的かつ効率的に市政が運営されていると感じる市民の割合
19.9% ⇒ 55.0%
- 経費効果額 174億円

(2) 計画期間

計画期間は、平成26年度から30年度までの5年間とします。

(3) 改革の取り組みの視点

サービスのあり方を市民目線で考える改革

常に市民ニーズを的確に把握し、市民の目線に立った質の高いサービスを安定的に提供できる改革を推進します。

市政経営の新たな仕組みをつくる改革

政令指定都市にふさわしい高度な行政運営を確保するため、経営マネジメントの仕組みを強化します。

また、行政評価制度の活用によりサービスの質を高め、社会環境や市民ニーズの変化に即応した自律的・戦略的な市政運営の仕組みをつくります。

職員一人ひとりが誇りと使命感をもって取り組む改革

行財政改革を着実に推進していくため、職員一人ひとりが「熊本市職員」としての誇りと使命感を持って取り組みます。

市民と接し、そのニーズを把握している第一線の職員が意欲的に取り組むことができるよう、職場内のチームワークとモチベーションの高揚を図り、改革の推進力としていきます。